



旅券(パスポート)の変更について

2024年12月
外務省領事局旅券課

1 「2025年旅券」の導入【安全に！】



新しいパスポートと、
一つ先の未来へ

未来へ飛び出す「パスポくん」をイメージし、海外渡航をするアクティブさや躍動感を表現。虹色の半円はプラスチック基材や偽造防止の桜模様をイメージ

- (1) 2025年3月24日の申請受理分から、偽造・変造対策を大幅に強化した「2025年旅券」の発給を開始予定。国際民間航空機関(ICAO)の勧告等を踏まえた対応。
 - 現行では申請者から申請を受理した都道府県旅券事務所等で旅券を作成・交付しているが、2025年旅券は国立印刷局で集中的に作成し、都道府県等に配送のうえ、申請者に交付する。
 - 顔写真ページがプラスチック基材となり、レーザーで印字・印画。
- (2) 国立印刷局から配送するため、日本国内では申請から交付まで2週間程度、国外(大使館・総領事館)では2週間～1か月程度を要することになる。国民の皆様には海外旅行を計画したら旅券の申請もお早めをお願いしたい(目安は旅行の1か月前までに申請)。

2 オンライン申請の利便性が大幅に向上【便利に！】

2025年3月24日から、下記3点の変更あり。オンライン申請をお勧めしたい。

- (1) 全ての都道府県においてオンライン申請による新規申請及び切替申請(残存有効期間が1年未満の更新)が可能になる。 オンライン申請なら、旅券事務所の窓口を訪問するのは旅券受取時の1回のみ。
- (2) 国内におけるオンライン申請では、戸籍情報がシステム連携^(注1)されるため、別途戸籍謄本の原本を提出する必要がなくなる。 戸籍謄本の原本の取得費用もかからない。(在外においては注2。)

(注1) 申請者がマイナンバーカードを使ってマイナポータルで戸籍連携に同意の上、オンライン申請を行うと、戸籍符号が旅券申請データと共に旅券発給管理システムに送信され、同システム上で戸籍電子証明書(戸籍謄本)が連携される。これにより、申請者は電磁的に戸籍謄本を提出したことになる。

(注2) 在外では、オンライン在留届(ORRネット)経由で旅券のオンライン申請を行う際、市町村窓口やマイナポータル上で取得した戸籍電子証明書提供用識別符号を申請画面上で入力することで戸籍情報がシステム連携される。なお、オンライン申請後に同符号を窓口に提出することも可能。

- (3) 窓口申請とオンライン申請で手数料が異なり、オンライン申請の手数料のほうが安価になる。

10年用旅券手数料(現行16,000円)

5年用旅券手数料(現行11,000円)

→オンライン申請: 15,900円／窓口申請16,300円

→オンライン申請: 10,900円／窓口申請: 11,300円

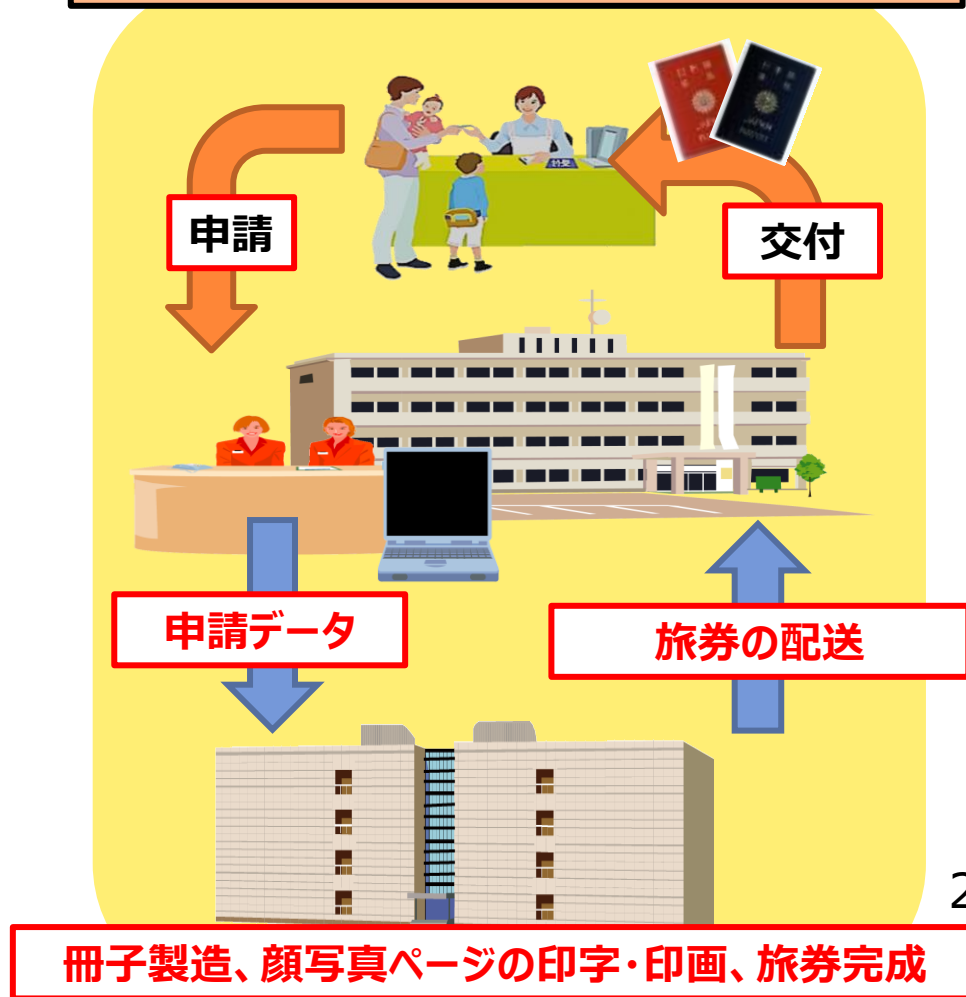
【参考1】旅券の集中作成方式とは

- ◆ 旅券の偽造・変造は世界的にも問題になっており、国際民間航空機関(ICAO)は、すべての旅券を1か所、多くとも2か所の拠点で発行することを検討すべきと勧告。
- ◆ 国立印刷局: 日本銀行券も製造する独立行政法人、数々の特許技術を持つ。

現行 (分散作成)
申請から交付まで1週間程度



令和7年3月24日～(集中作成)
申請から交付まで2週間程度(日本国内)



申請者

旅券窓口

国立印刷局

【参考2】これまでの旅券の変遷

2006年 ICチップ搭載旅券導入： 米国同時多発テロ事件を受けて偽造・変造対策を強化

2020年 「北斎旅券」にデザイン変更： 査証ページの見開き毎に「富嶽三十六景」の各作品を採用

2023年3月27日

(1) オンライン申請の導入

- 国内では全ての都道府県において旅券の更新(切替申請)はオンラインで申請可能(一部では戸籍謄本を別途郵送することにより新規申請も可能)となり、国外では更新・新規申請共に可能に。
- 国内ではマイナンバーカードを使い、マイナポータルから申請。国外では在留届の電子申請システム(ORRネット)から申請。オンライン申請で提出する写真や署名は自撮り写真の利用が可能。
- オンライン申請することにより、旅券事務所窓口には交付時の1回のみ訪問すればよく、申請者の利便性が向上。同時に顔照合システム等の活用により、セキュリティを強化した。

(2) 手数料のクレジットカードによるオンライン納付

- オンライン申請時にはクレジットカードによるオンライン納付も可能となった(2024年12月現在、45都道府県が導入済み)。

【参考3】今後の広報

12月24日(予定):大臣記者会見で2025年旅券のロゴ、外観・券面を対外発表。

1月中旬以降:①外務省SNSや政府広報オンラインでの発信、②ネット上に広報バナーやクイズ動画の掲載、③全国でのポスター掲示等の広報を展開。

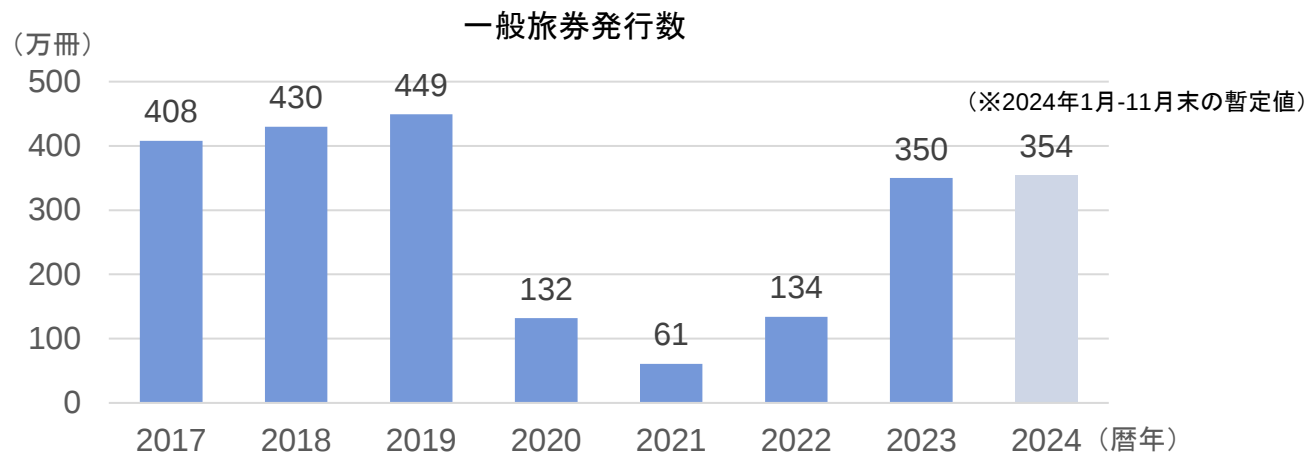
2月20日(旅券の日):旅券統計の公表、なりすまし防止の審査強化週間を実施。



広報例「もっと安全に。
申請しやすく。パスポート
クイズ動画(一場面)」

【参考4】 令和5年旅券統計(抜粋)

(1) 旅券発行数の推移： コロナ禍終息後、諸外国における入国制限措置等が撤廃され、日本人の海外渡航も増加、2023年から旅券発行数も回復傾向。



(2) 旅券のオンライン申請

国内における切替申請(新規申請含まず)について、オンライン申請の利用率は約3割(2023年)^(注)

(注) 2023年3月27日(オンライン申請開始)～同年12月末の国内での旅券申請数280万件のうち、切替申請(残存有効期間が1年未満の更新)は約44万件。このうちオンライン申請数は約14万件。

(3) 不正使用されたと判明した偽変造旅券冊数(日本旅券)

2019年:24冊、2020年:18冊、2021年:18冊、2022年:31冊、2023年:40冊